AsiaNet 99612 （0150）

MWCバルセロナ2023：ファーウェイがインテリジェントな世界へ向けた歩みの加速を提唱

【バルセロナ（スペイン）2023年2月27日PR Newswire＝共同通信JBN】ファーウェイ（Huawei、華為技術）のLi PengキャリアBG（通信事業者向けビジネスグループ）プレジデントは27日、ファーウェイのMWCバルセロナ2023「デー・ゼロ・フォーラム（Day 0 Forum）」で、5Gがいかにインテリジェントな世界への扉を開いているか、そして5.5Gへの飛躍がこの過程における重要な節目となるかについて語った。Li氏は、業界が一丸となって超ブロードバンド、グリーン、インテリジェントな世界に向けた歩みを加速させる必要があること、そしてファーウェイのビジネス構想「GUIDE」がこの重要目標達成の基盤づくりに役立つことを強調した。

▽ファーウェイのLi PengキャリアBGプレジデントが基調講演

職場、家庭、私生活においてデジタル化、インテリジェント化の効果が一層明白になる中、物理的な世界とデジタルの世界の距離もより接近してきているように見える。キャリア（通信事業者）の多くが、これらの領域で高まりつつある、より質の高い体験とより高い生産性を求める声に応え、情報通信技術（ICT）産業を前進させている。

▽「コネクティビティー・プラス」が5G開発成功の鍵

2022年末までに、230以上の5Gネットワークが既に商用展開され、10億人を超える5Gユーザーと多数の5Gデバイスをサポート、5GはICT産業の急速な発展をけん引している。消費者市場では、通信事業者が「コネクティビティー・プラス（Connectivity+）」拡大のため、イノベーションを進めている。5Gの機能が向上し続ける中、欧州、アジア太平洋、中東の大手通信事業者は、さまざまな種類のデジタルサービスの開発にしのぎを削っている。一部の通信事業者は、コネクティビティーをローカル・オーバー・ザ・トップ（OTT）サービスと融合させ、共に成功を収めている。こうしたサービスは、コネクティビティーとソーシャルメディアなどのデジタルサービスをセットにしており、ワンストップのデジタルサービスプロバイダーになる際の役に立っている。

5Gや光ファイバーの普及が進むにつれ、家庭市場も通信事業者がより大きな価値を生み出せる領域になってきた。そこで通信事業者は、より良い体験、より良いサービス、そしてより効率的な運用・保守（O&M）のために「コネクティビティー・プラス」を広げている。5G FWAや10G PONなどのプレミアム・ホームブロードバンドサービスは予想以上のスピードで拡大、欧州や中東など各地域の通信事業者が1ユーザー当たりの平均売上（ARPU）を30%-60%増やすのに貢献している。

5G、AI、クラウドコンピューティングなどの汎用技術が産業のデジタル化を推進し、新たな戦略的チャンスをもたらしている。法人顧客はより多くの提供ポートフォリオを必要としており、通信事業者は「コネクティビティー・プラス」を強化する必要がある。中国のある通信事業者は、コネクティビティーにクラウド、AI、セキュリティー、プラットフォームサービスを組み合わせて新市場に進出、2022年には産業のデジタル化により収益を20％超増やした。

通信事業者は今後もネットワーク能力を向上させ、より確かな体験の提供を目指すだろう。そのため、通信事業者は「コネクティビティー・プラス」をよりオープンなものにしようとしている。ファーウェイは、GSMAが主導するCAMARAプロジェクトに参加している。同社は同プロジェクトを通じて、通信事業者がネットワークをサービス提供を可能にするプラットフォームに変え、顧客体験の向上を収益化する手助けをしようと考えている。

▽超ブロードバンド、グリーン、インテリジェントな世界への移行を加速

今後、インテリジェントな世界は物理的な世界と完全に融合されるだろう。個人の娯楽、仕事、工業生産などあらゆるものがインテリジェントに接続されるようになるだろう。これは、ネットワークがユビキタスGbpsからユビキタス10Gbpsに進化し、コネクティビティーとセンシングが統合され、ICT産業がエネルギー消費からエネルギー効率に重点を移さざるを得なくなることを意味する。

▽5Gから5.5Gへの進化は、こうした要求の高まりに応えるための鍵となる

ファーウェイは業界パートナーと協力して、革新的な無線、光、IP技術によりユビキタス10Gbps体験を提供し、車両と道路のコラボレーションや環境モニタリングなどの使用事例を模索してセンシングとコミュニケーションを統合し、グリーン産業の発展を促す統一エネルギー効率指標システムを構築する準備を整えている。

国際電気通信連合・電気通信標準化部門（ITU-T）は2022年、ネットワークの炭素排出強度を測定する指標「NCIe」を正式な尺度として公式発表した。中国や欧州の大手通信事業者は、新たな多次元エネルギー効率指標を実際のネットワーク上で検証し、エネルギー効率を20％-50％改善している。

Li氏は講演の最後に、業界全体がビジネス構想「GUIDE」に従って5Gの隆盛を加速させ、超ブロードバンド、グリーン、インテリジェントな世界に向け、歩みを加速させるよう呼びかけた。

MWCバルセロナ2023は、2月27日から3月2日までスペインのバルセロナで開催される。ファーウェイは、フィラ・バルセロナ・グラン・ビアのホール1・スタンド1H50で製品とソリューションを展示する。世界の通信事業者、業界の専門家、オピニオンリーダーと共に、5Gビジネスの成功、5.5Gのチャンス、グリーン開発、デジタルトランスフォーメーション、そしてビジネス構想「GUIDE」を使って5.5Gの基礎を築き、5Gの成功を基にさらなる繁栄を目指す当社のビジョンなどの話題に踏み込む予定である。詳細については、<https://carrier.huawei.com/en/events/mwc2023> を参照。

ソース：Huawei

画像添付リンク

Link: <http://asianetnews.net/view-attachment?attach-id=438140>

（画像説明: 基調講演するファーウェイのLi PengキャリアBGプレジデント）